

**【NEWS RELEASE】**

2020年7月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

**株式会社マツシマホールディングスに「SDGs推進融資」を実施**

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社マツシマホールディングス（代表取締役社長：松島 正昭）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社マツシマホールディングスについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

**kiwakoto ブランドによる伝統文化・技術の保護・振興への貢献**

目標 8.9 働きがいも 経済成長も	2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。
目標 4.4 質の高い教育を みんなに	2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

**京都の魅力向上活動による自社と地域との長期的な関係構築**

目標 12.8 つくる責任 つかう責任	2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
目標 17.17 パートナーシップ で目標を 達成しよう	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。

**<ご参考>**
**SDGsとは**

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。